

シーボルト来日200周年記念事業について

【関連：目標3（1）】

ふくおか資料室

【事業目的】

- シーボルト来日200周年という記念の年に、福岡とシーボルトとの間に交流があったこと、当館が初版のシーボルト資料を所蔵していること（図版を「福岡県立図書館デジタルライブラリ」に公開していること）を県民にひろく知ってもらおう。それにより、福岡の歴史への理解を進め、当館資料の利用促進につなげることを目的とする。

【事業概要】

館内各室、西南学院大学博物館と協力して次の事業を行う。

○講演会「シーボルトをめぐる人々」

日時：令和5年12月16日（土）13時開会予定

会場：アクロス福岡大会議室（福岡市中央区天神1丁目1番1号）

講師：宇神幸男氏（作家、音楽評論家。専門は文学、郷土史 著書に『幕末の女医楠本イネ シーボルトの娘と家族の肖像』など）

宮崎克則氏（西南学院大学国際文化学部教授。専門は日本近世史。著書に『古地図の中の福岡・博多』、『シーボルト『NIPPON』の書誌学研究』など）

○関連展示

西南学院大学博物館「シーボルトと近世の蘭学者たち」※当館所蔵シーボルト資料の展示
10月23日～12月18日

福岡県立図書館ふくおか資料室ミニ展示「図書館員が選ぶシーボルト資料【推しの一枚】」
8月9日～10月8日

同ミニ展示「(仮) 福岡とシーボルト」10月17日～12月24日

福岡県立図書館企画展示「(仮) シーボルト」10月17日～12月24日

福岡県立図書館子ども図書館展示「(仮) シーボルト」10月17日～12月24日

【今後の課題】

- ・通常、館内で行事を行う場合、参加者は福岡市東区、博多区が中心であり、広範囲からの参加は少ない。記念行事を機会に福岡市の東と西で展示を行い、中央で講演会を行うことにより広範囲から多くの参加につなげていきたい。
- ・今回の講演会・展示を通じて、地域文化に対する興味喚起につなげたい。今後もそのような機会を提供できる行事を行う必要がある。
- ・今回、資料の貸出をきっかけに西南学院大学博物館と協力して事業を行っているが、引き続き、情報収集を怠らず、今後も他機関との連携を機会あるごとに行いたい。